

農林水産省・消費者の部屋での特別展示「進めよう!! “農” マライゼーション～アグリにトライ! チャレンジド(障がい者)!～」に出展協力

農村計画部 集落機能研究室

5月24～28日の期間、農林水産省「消費者の部屋」において、農林水産省経営局人材育成課による展示「進めよう!! “農” マライゼーション～アグリにトライ! チャレンジド(障がい者)!～」が行われました。農工研から農村計画部集落機能研究室が、この展示に全面的に協力しました。連日100名を超える消費者の来訪を集めるなど、盛況な展示となりました。

「ノーマライゼーション」とは、障がいの有無にかかわらず、だれもが誇りをもって、互いの存在を認め合い、あたりまえに暮らせる社会を目指す理念です。その中には、障がい者が社会の一員として働くことも含まれています。今回の展示では、農業を通して、ノーマライゼーションの理念に近づくことを願い、“農”の文字をあてました。

今回展示している内容は、平成21年度に農工研が農林水産省から受託した「障害者アグリ雇用推進事業」で得られた成果に基づいています。この事業は、農業分野における障害者の就労支援を将来に向けて推進することを目的に実施したものです。



パネルやビデオなどを展示



障がい者が育成した鉢植えを展示